



小山中学校

令和7年度 第10号

令和7年12月23日

小山中学校だより

町田市立小山中学校

～温かい穏やかな雰囲気为学校づくりを～

HP=<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320109>

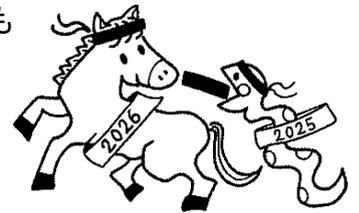
「いよいよ年の瀬です」

校長 土屋 敏彦

学期末ということが大きいのですが、12月に入ってから職員室も慌ただしい雰囲気でした。そして、終業式まで残り2日となりました。お陰様で2学期も小山中学校では大きな事故なく過ごすことができました。日頃より、生徒の皆さんが温かく穏やかな雰囲気を作ってくださっているからこそだと先生方は感謝しています。ありがとうございます。

さて、掲題に書いた「年の瀬」ですが、「年末」といっしょによく使われる言葉です。よく使っている言葉なのに「年の瀬」の「瀬？」ってなんだろうと考えてしまいました。そこで早速、「瀬」とはどういう意味なのかググってみたところ、「瀬」とは「川の流が早く浅い場所(船が進むには困難・危険な場所)」を意味するそうです。そして、1年で最も時間が早く過ぎ去るように感じる、年末の慌ただしく切羽詰まった様子やお正月を迎えるために金銭的なやりくりが困難な状況を「瀬」を渡る危険な船の様子に例えた表現であるそうです。普段、よく使っている言葉にもこんな意味があったのだなと改めて確認することができました。

「年の瀬」、2学期末の職員室にピッタリの言葉だと思いました。くれぐれも転覆事故や座礁事故が起きないように努めていきたいと思ひます。



「いじめについて」

小山中学校では毎月「心のアンケート」を実施して皆さんのいじめや不安、トラブルなどを調査しています。本校は700名以上の生徒が集団生活を送っているため、毎回何らかのトラブルや不安が寄せられます。そのたびに双方から丁寧に事情を聴き指導しているため、今のところ長期的ないじめやトラブルは発生していません。ただし、今年度も数回のないじめの指導をしてきたことも事実です。全校朝礼においてもいじめについての話をしましたので、以下にその時の内容を掲載させていただきます。

一人の人間に対し、複数人で嫌なことを言ったり、避けるような雰囲気を作ったり、ましてや自分の立場を上に見せるため、クラスの中で自分が目立つように、わざと人を非難したり、聞こえよがしに、わざと聞こえるように皮肉を言ったりなど、このようなことは絶対にあってはなりません。これは間違えなくいじめです。そして卑怯者のすることです。残念ながらこの2学期に今あげたことが小山中の中で起こっていました。気が付いた人がすぐに先生方へ知らせてくれたので、指導ができ、猛省を促すことができましたが、これをやられた人の心の傷は、なかなか癒えることはありません。長い時間を待つしかありません。いろいろな個性が集まり、学校の中で集団生活を過ごすことで、協力したり、ぶつかったり、たくさんを経験し、お互いに学び、お互いに成長できる場所が小山中学校です。しかし、いじめだけは絶対にあってはなりません。もし今、自分が、自分たちが、教室で、廊下で、周りの生徒が、近づきにくいような雰囲気や立場を作っていたら、そのグループがいじめにつながる可能性は、大きいと思ってください。少しでも思い当たることがあったら「卑怯者」という言葉の意味をしらべ、自分の胸に手を当て、自分の行動を振り返ってください。繰り返しますが、いじめは絶対にあってはなりません。温かく穏やかな雰囲気为学校を作るため、全生徒で全力でいじめを否定してください。何か気になることがあれば、すぐに先生方へ知らせてください。よろしくお願ひいたします。

来年は、このようないじめの話を朝礼ですることがないようにしたいものです。

新年の初詣のさいには、神様や仏様にこの世界から戦争といじめがなくなるようにお祈りして下さったらうれしく思ひます。

いよいよ令和7年が終わろうとしています。今年1年間大変お世話になりありがとうございます。

どうかよいお年をお迎えください。

「胸がいっぱいになりました」

2学期もいくつかの部活動の大会を観戦&応援させていただきました。休日にも皆さんが頑張っている姿を見られて大変うれしく思います。夏からの厳しい練習の成果が得られた部活動もあれば、頑張ったのに結果がついてこなかった部活動もあったことと思います。特に運動系の部活動は戦績によって成果を見られることがあるため、成果を得ることは並み大抵のことではありません。戦う相手に大きく左右されながら自分が思い描いたような戦績を上げることは極めて困難なことです。戦績のみにとらわれず、自分の内面の成長や仲間との関係や連携の成長に視点を変えられたら大きな成果が見られると思います。実践してみてください。

さて、ある部活動の観戦に行ったとき、試合が終わった顧問の先生が私に言った言葉が心に残っています。それは、「この子たちを都大会に連れて行ってあげたかった。」という言葉です。試合が終わったコートを見ながら、目を真っ赤にして語っていただきました。目標を達成できなかった悔しさと辛さ、夏から生徒とともにかけてきた時間と思いがこの言葉と涙だったのだと思います。これほどまでに生徒のことを思ってくださった顧問の先生の気持ちと、顧問の先生を信じてついてきた生徒たちに嬉しさで胸がいっぱいになりました。ありがとうございます。忘れられない言葉と情景になりそうです。

「冬休みに「便利さ」の裏側に潜む影と向き合ってみては」

副校長 河野 龍

今年も様々なことがありました。その中で気になった事柄について触れてみたいと思います。

この冬休みには、ご家庭でのスマートフォンの使い方について改めて話す機会を設けて欲しいと思います。先日、オーストラリアでは世界に先駆け、16歳未満のSNS利用を法的に禁止する措置が取られました。背景には、SNSが子供のメンタルヘルスや安全に及ぼす深刻な影響への危機感があります。みなさんは健康や学習に悪影響は出ていないでしょうか。

日本でも、中学生を巡るSNSトラブルは「使いすぎ」だけでなく、深刻な犯罪へと繋がっていきます。例えば、「闇バイト」への加担です。高額報酬を謳う投稿に軽い気持ちで応募し、身分証を送った結果、「家族に危害を加える」と脅されて強盗や詐欺の実行役に仕立て上げられる事例が全国で相次いでいます。

また、「自撮り被害」も深刻です。SNSで知り合った相手に言葉巧みに誘導され、裸の画像を送られる被害は、中学生が全世代で最多(約半数)となっています。加えて、生成AIの急速な発達により、誰でも簡単に「本物そっくりな偽画像(ディープフェイク)」を作れるようになりました。警察庁の最新の報告では、18歳未満の性的偽画像の被害相談のうち、なんと半数以上が「同じ学校の同級生や先輩」による加害であったという衝撃的な実態も明らかになっています。「遊びのつもり」という軽い気持ちで、誰かの尊厳を一生傷つけ、自分自身の将来をも壊す重大な犯罪に直結する時代です。

スマホは「魔法の杖」ではなく、使い方を誤れば凶器にもなり得る「道具」です。この冬休み、ご家庭でも「どこまで許容するか」というルールを再確認とともに、ネットの向こう側にいる「人」への想像力について、ぜひ深く話し合ってください。

◆◆◆ 表彰の生徒・部活動の紹介 ◆◆◆

町田市中学校体育連盟バスケットボール新人大会	男子の部 第3位	男子バスケットボール
	女子の部 準優勝	女子バスケットボール
相模原珠算競技大会 2025	中学生の部 個人総合競技 6位	1 A A・K
	中学生の部 読上算競技 2等	
	中学生の部 読上暗算競技 2等	
2025年全国そろばんコンクール	中学1年生の部 銀賞	
2025年度ピティナ・ピアノコンペティション	東日本E級4地区本選入選	3 D A・M
令和7年度東京都中学生バドミントン日南地区冬季大会	男子シングルス 第3位	2 C H・T

◆◆◆ 今後の予定 ◆◆◆

12月25日(木)	終業式・職員会議	1月11日(日)	開校記念日
12月26日(金)	冬季休業日始(~1/7)	1月13日(火)	安全指導・専門委員会
12月29日(月)	校舎内立入禁止期間始(~1/3)	1月15日(木)	心のアンケート・中央委員会
1月8日(木)	始業式・職員会議	1月16日(金)	特別支援学級連合交流学習会・安全点検 英語検定
1月9日(金)	給食始・特別支援学級校外学習・避難訓練		